

## 8 芸術（書道）

学校番号

T3010

### 令和3年度 芸術科（書道）

教科	芸術	科目	書道 I	単位数	2 単位	年次	4 年次
使用教科書	「書 I」 (教育図書)						
副教材等	なし						

#### 1 担当者からのメッセージ（学習方法等）

- ・小学校、中学校の書写の授業で学んだことを発展させて、芸術科書道では用具用材の違いによる表現の違い等を学びましょう。
- ・平仮名から入り、篆隷行草から楷書に至るまで様々な書体を体験し、筆の弾力を使いこなし、自分らしい文字を書くことが出来るようになることをめざします。
- ・身近に飾れる作品を作ることで達成感を味わい、書を愛好する心情を育てます。

#### 2 学習の到達目標

書道の幅広い活動を通して、生涯にわたり書を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、書写能力の向上を図り、表現と鑑賞の基礎的な能力を伸ばし、書の伝統と文化についての理解を深める。

#### 3 学習評価（評価規準と評価方法）

観 点	a:書への 関心・意欲・態度	b:書表現の 構想と工夫	c:創造的な書表現の 技能	d:鑑賞の能力
観 点 の 趣 旨	書の創造的活動の喜びを味わい、書の伝統と文化に関心をもって、主体的に表現や鑑賞の創造的活動に取り組もうとする。	書のよさや美しさを感じ取り、感性を働かせながら、自らの意図に基づいて構想し、表現を工夫している。	創造的な書表現をするために、基礎的な能力を生かし、効果的な表現の技能を身に付け表している。	日常生活の書の効用や書の伝統と文化について幅広く理解し、その価値を考え、書のよさや美しさを創造的に味わっている。
評 価 方 法	観察 レポート ワークシート ポートフォリオ	観察 レポート ワークシート ポートフォリオ 提出作品	観察 レポート ワークシート ポートフォリオ 提出作品	観察 レポート ワークシート ポートフォリオ 提出作品
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。				

#### 4 学習の活動

月	題材名	学習内容・活動	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
4 5	1 書への いざない	<ul style="list-style-type: none"> <li>・書道の学習</li> <li>・用具・用材を知ろう</li> <li>・表現の幅を広げよう</li> </ul>	○ ○	○		○ ○	a: 書写と書道の共通性と相違を理解する。 b: 用具・用材の重要性と表現との関係を理解し、漢字と平仮名の調和と配列について工夫している。 c: 漢字と平仮名の配列・配置についての確に表現を工夫している。 d: 身近なくらしの中での書の実用書式を理解している。	観察 レポート ワークシート ポートフォリオ 提出作品
6 7 8 9 10	2 漢字の 書の学習	<ul style="list-style-type: none"> <li>・古典に学ぼう</li> <li>・行書の古典に学ぼう</li> <li>・漢字の書を創作しよう</li> </ul>	○ ○	○		○ ○	a: 漢字の書の変遷について関心を持ち、積極的に表現技法を高めようとしている。 b: 行書古典の臨書学習により、行書の特徴を踏まえた用筆法・運筆法に基づいて構想し、表現を工夫している。 c: 行書の特徴を理解し、用具・用材や形式、構成などの表現方法を工夫し、作品を制作する。 d: 漢字の古典の鑑賞により、多様な表現を理解する。	観察 レポート ワークシート ポートフォリオ 提出作品
11 12	3 仮名の 書の学習	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高野切第三種に学ぼう</li> <li>・高野切第一種に学ぼう</li> <li>・散らし書きの古筆に学ぼう</li> <li>・平安時代の古筆を鑑賞しよう</li> </ul>	○ ○	○		○ ○	a: 変体仮名について関心を持ち、仮名の書の美しさと特徴を理解する。 b: 平安期の仮名独特の流動美や紙面構成・表現を理解し、表現を工夫している。 c: 連綿・変体仮名を使いこなし、仮名の流動、美や運筆のリズムなどの技能を身に付け表現している。 d: さまざまな仮名の古典を鑑賞し、感じたことを話し合い、自らの鑑賞力を深める	観察 レポート ワークシート ポートフォリオ 提出作品
1 2 3	漢字仮 名交じ りの書 の学 習	<ul style="list-style-type: none"> <li>・創作しよう</li> <li>・構成を工夫しよう</li> <li>・漢字仮名交じりの書の名筆を鑑賞しよう</li> </ul>	○ ○	○		○ ○	a: 書の幅広い表現方法を理解し、主体的に表現や鑑賞の創造的活動に取り組もうとする。 b: 書のよさや美しさを感じ取り、感性を働かせながら、自らの意図に基づいて構想し、表現を工夫している。 c: 全体構成を考えた技能を生かして創造的な書表現している。 d: 創作した作品を生徒同士で鑑賞しあう。	観察 レポート ワークシート ポートフォリオ 提出作品

※ 表中の観点について a: 書への関心・意欲・態度  
c: 創造的な書表現の技能

b: 書表現の構想と工夫  
d: 鑑賞の能力

※ 原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。